



録画を配信

交通弱者の移動手段の確保はどうする

町長 交通弱者の移動手段は解決すべき重要課題



いぶくろまさ と
衣袋正人 議員

通院・買い物など移動困難な方の交通手段の確保充実を期待し、当局の方針を問う。
移動手段の確保

問 当町では中心部への都市機能集約を図る方針であるが、周辺地域に暮らす方の移動手段の確保はどうか。
町長 機能集約化と、住民サービスを誰もが受けられる交通サービスの維持向上を推進している。
交通弱者の移動手段の確保は、町づくりと一体的に解決すべき重要な課題であると認識している。

デマンドタクシー

問 デマンドタクシーは突発的な用事に対応しにくいと言われるが、どのように捉えるか。
町長 そのような指摘は一定程度理解するが、行政サービスの過度な充実が地元の民間交通事業者の経営を圧迫することにつながるので、バランスが重要と考える。

問 安価だが、利便性の向上を求める声もある。細やかな対応など改善の検討はあるか。
企画政策課長 利便性

については、乗り合いタクシーとして運輸局の認可を受けているの



デマンドタクシーでお買いもの

で、どうしても制限が出てしまう。
実態やニーズを把握することは、今後のサービス向上に向けて大変有意義なことだと思う。

スクールバス利用

問 一部で混乗型スクールバスの運行を行っているが、通学時間以外の空き時間帯での活用はできないか。
教育次長 近年、登下校の時間だけでなく授業や行事等、有事の際の緊急的運行などで使用しており、慎重な検討・調整が必要である。

タクシー券の増額を

問 春からタクシー運賃が大幅値上げになった。タクシー券の支給を行っているが、物価に連動して増額等を検討してはどうか。
健康福祉課長 運賃改定に関しては承知しているが、単に金額を引き上げるだけでなく実際の利用実績や物価動向などを精査し、ほかの移動支援策との整合性も含め総合的に検討する必要がある。

私もひとこと

免許を返納しろと言われるが、移動手段が無いと困るので車は手放せない。

(80代女性)